

# 藤枝市・藤枝市社会福祉協議会

## ふじえだ足すとプロジェクトF～藤枝市の挑戦者たち～

藤枝市では、市民団体や社会福祉協議会などと市が一体となって高齢者の「足」の問題の解決に向けて取り組み、高齢者に外出の楽しみを取り戻す成果を上げてきました。超高齢社会に共通するこの「足」の問題の解決に向けた努力と、これからも続く挑戦について、藤枝市の感動の物語を紹介します。

D 助け合い活動の創出に関するもの

### Fujieda Assist ふじえだ足すとプロジェクトF PROJECT F Foot Fujieda 藤枝市の挑戦者たち Challengers

#### 平成29年

地区社協の会長たちは、口々に言った。  
高齢者の単身世帯や老老世帯が増えている。  
高齢になって免許返納できない。  
高齢者の一足ののり、行政職員や団体から異議が相次いだ。  
「高齢者の一足ののり、行政職員や団体から異議が相次いだ。」

「高齢者の一足ののり、行政職員や団体から異議が相次いだ。」

「高齢者の一足ののり、行政職員や団体から異議が相次いだ。」

#### 平成30年

「高齢者移動支援研究会」を立ち上げ、市役所関係部署11課室、市内5地区の地区社協、市社協、シルバー人材センター、地域包括支援センターが一堂に集し高齢者の「足」の課題解決に向け、話し合った。  
有償で人を運ぶ場合は、国土交通省の許可や登録が必要となります。  
無償の場合は不要ですが...  
先達事例を学び、地域住民ができることを考えた。  
運転は地域住民でできるけど、車両の購入や管理を住民が負担だよ。  
車を手で用意してもらおう。  
「出かける」の劇を決めた。  
市内各地区で、移動支援の取組創出に向けた協議が動き始めた。  
市役所関係部署11課室、市内5地区の地区社協、市社協、シルバー人材センター、地域包括支援センターが一堂に集し高齢者の「足」の課題解決に向け、話し合った。

#### 令和元年

西沢津、葉梨、広橋、瀬戸合の4地区で、地域住民の組織が立ち上がり、移動支援サービスがスタートした。  
出発します！  
また、お買い物できるじゃんね。  
閉じこもりがちな高齢者たちに、笑顔が戻った。

#### 令和2年

大洲、高洲の2地区もこれに続いた。  
また、お買い物できるじゃんね。  
閉じこもりがちな高齢者たちに、笑顔が戻った。

#### 令和3年

移動支援研究会を調准し、各地区の現状やニーズなる取組市の新たな事業として話し合った。  
市は令和4年度から、地域の団体と連携して、高齢者を通いの場へ送迎するデマンドバスの運行を決めた。  
さらに、自家用有償旅客運送の支援制度も作ることにした。  
藤枝市の移動支援の挑戦者たちの旅は終わらない

移動・買い物支援